

すずらん通信

Vol.48
令和4年
12月1日
発行

親の会

今回の親の会は、2日間に渡って行いました。11月23日は、「子どもとの心地よいコミュニケーションの為に」をテーマに、公認心理師の先生に講演をして頂きました。この日は、朝から冷たい雨でしたが、それでも16名の親御さんが参加されました。皆さん、「人格適応論」をベースにした自分のタイプと子どものタイプについての学びが、今後の子どもへの対応を改善する手掛かりになったのではないかと思います。26日は、主に放課後等デイサービスリリーベルの親御さんの参加で、高校を卒業した後や社会に出た時の進路について、事例を交えながら相談支援員の方に講義していただきました。こちらは7名の親御さんの参加となり、皆さんノートに講師の話を一生懸命書き留めていました。後半は、グループディスカッションで、講師の方も交えながら、和やかな雰囲気ではが運ばれました。皆さん、これを機会に色々な情報を得て選択肢の幅を広げて行って下さいね。得た情報は、役立つ時がきますよ。(中村 鳴美)

ひきこもり地域理解促進事業

今年も公認心理師の金平先生による講演を行いました。ひきこもりの親御さんや当事者、関係のある方を対象とした「生まれたときからオリジナル～多様な個性を理解する～」というテーマです。今年の参加者は少なめでしたが、それでも皆さん真剣にメモしながら、お話を聞いていました。ひきこもり支援には専門機関の設立、専門家の育成が必要な状況となっており、行政もそれに向けて動き始めています。その支援も就労にこだわらない、より当事者のニーズに寄り添ったものとして作られています。今年も金平先生、ありがとうございました。参加されました皆さんお疲れ様でした。(中村 鳴美)

折り返し地点を迎えて

時が経つのは早いもので、研修もあっという間に半年を過ぎてしまいました。おかげさまで鈴蘭学園・リリーベルともに、毎日が新たな学び・発見・気づきの連続で、充実した研修を過ごせています。

さて私自身、利用されるお子さま方との交流を通じて、改めて「居場所」の重要性について考えさせられています。利用されるお子さま方の姿を見ると、他の利用者や職員と楽しくゲームやチャレンジ活動などに取り組んだり、日常会話を楽しんだりしている様子が見受けられます。お子さま方にとって鈴蘭学園やリリーベルが、居心地が良く、安心・安全な気持ちも感じられ、かつ「自分らしさ」や「存在感」が見出せるような、一つの「居場所」となっている印象を受けます。何よりご本人自らが、心の底からプラスな感情を持って過ごせているのが一番です。

ではこのような「居場所」を、今度は拠点を「学校」に置き換えて、それをどのようにして作り出し、見出していくのか。これは学校教員である私が、今年度の研修の中でぜひ考えなければならない課題の一つだと受け止めています。子どもたちが学校で居心地よく過ごせるために、日々の活動からどのような取り組みを行うか。また学校に対する不信感や様々な事情を抱えた子どもたちが、安心・安全に感じられ、かつ「自分らしさ」や「存在感」などを見出しながら過ごせる場所を、教師(学校)側がどのようにデザインするか。まだ私なりの明確な答えやプランは見えていませんが、ぜひその糸口を、残り半年近くの時間から見つけられたらと思います。引き続きよろしく願いいたします。(鼻輪 展亮)



リリーベルの
落花生

リリーベル活動報告

10月下旬、講師の方をお招きして思春期の心の特徴、心の病、関わり方のテーマに研修を行いました。精神に関する症状について実際にあった事例を元に、思春期に起こりやすい症状や適応障がいや不安障がい、うつ病などの具体的な症状やその対応について学びました。この研修を踏まえ、利用者との関わり方について一人ひとりの個性、興味関心等に合わせた活動を提供できているか改めて確認し、今後の利用者に対する関わり方、活動内容を考えていく必要性を改めて実感しました。

10月は涼しく感じる日々が増えたこともあり、公園で体を動かしたり、畑で落花生や蕎麦を収穫したりするなどの外活動を行いました。収穫した蕎麦は炒ってそば茶に、落花生は塩ゆでやクッキーにして食べました。また、ハロウィンをテーマにした工作やカボチャを切り出してジャックオランタンを作るなどの活動をした他、 कोरोレさんとの合同企画でハロウィンのポストカードを制作し、 कोरोレさん近くの商店街にハロウィンのコスプレをして配り歩きました。

11月は कोरोレさんとの合同運動会やつくし野アスレチックパークに行きました。合同運動会では相模原レクリエーションパークにて कोरोレさんとリリーベルの合同による2チームに分かれ、玉入れや大縄跳び、お菓子取り競争で対決しました。当日は良く晴れた絶好の運動日和でした。どの競技も盛り上がりを見せ、スタッフも含め皆必死になって競技に参加していました。選手としては参加しなかった方も競技の手伝いや得点管理などの裏方を担当してくれ、大会を盛り上げてくれました。最後は運動会の参加者全員、楽しかったで終わった運動会でした。つくし野アスレチックパークでは森の中に設置されたアスレチックをみんなでやりながら回り、お昼は焼きそばとフランクフルトを焼いて食べました。森の中を散歩しながらおしゃべりを楽しんだり、難易度の高いアスレチックに挑みクリアしたことを互いに称えあったり、お昼をみんなで楽しみながら食べて過ごすなど、つくし野アスレチックを堪能しました。最後は疲れた様子ながらも満足して終わった一日でした。（佐野 拓哉）

中村のちょっと感動した話

今年もきてしまいました。10月23日私の誕生日。何歳になったかは、シークレットとさせていただきます。それでも、スタッフ皆さんから素敵なお花を貰いました。ありがとうございます。いくつになっても、お花を頂けるのは、本当に嬉しいことです。嬉しい繋がりや、子どもたちから家族旅行に行ったのでと言って、お土産を貰う機会がありました。ご家族皆さんで鈴蘭学園の事を思い浮かべながらお土産を買われている、そんな優しいお心遣い、本当にありがとうございます。子どもたちが、笑顔でお土産を渡す姿に、嬉しさを感じる中村でした。

（注意）お土産を催促するお話ではありませんからね。



お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。
まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL：042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。